

大阪維新の会 政務調査会 電動小型モビリティ勉強会

- 日 時 令和3年9月14日(火) 14時から15時
- 場 所 大阪府庁 大阪維新の会控室
- 出席者 池淵理事長、後藤副理事長、福井専務理事
角谷府会議員(政調会長代理)、広野府会議員、上田府会議員
他大阪維新の会の府会議員がwebにて参加
- 内 容
 - ◇ 池淵理事長の挨拶
 - ✓ 大阪府は全国で一番大きな50ccのマーケットであります。しかし排出ガス規制により2025年より50ccの新車のラインナップが殆どなくなり価格も高額になってくる見通しです。
 - ✓ この分野は本日のテーマである電動小型モビリティと重複する領域でもありますが、私どもオートバイ業界はこの新しい電動小型モビリティを否定するのではなく、棲み分けて普及していければと考えております。
 - ✓ この新しい領域の電動小型モビリティは今後、商品もどのように変化していくかは分かりませんが、50ccを含めたこの領域の乗り物にとってユーザーが乗りやすい環境にさせていただきますようお願いいたします。
 - ◇ 後藤副理事長からの説明
 - ✓ 大阪は全国一の50cc保有台数を有しているので電動小型モビリティが普及する土壌はある。
 - ✓ 電動小型モビリティが普及することへの問題点は4店ある。
 - ✓ 1. 使用者の交通モラルが低いので交通教育が必要である。
 - ✓ 2. 現在の主な販売方法はネット経由であるため十分な指導が行えないので対面販売にシフトすべき。
 - ✓ 3. 電動小型モビリティは自転車専用道は走行できるが歩道は走行できない。従って車道の左端は速度差のある自転車、電動小型モビリティ、原付が走行することになり危険であるので道路左端の走行区分を整理する必要がある。
 - ✓ 4. 原付も含めて駐車場所が絶対的に不足している。そこに全く形状の違う電動小型モビリティをどこに駐車するのか。原付を含めたモビリティを利用しやすい都市計画を行う必要がある。

➤ 質疑応答

- ✓ 電動小型モビリティは二輪車業界の方々から見ると危険なものだと思いますか？

↓

使用者の現状の交通モラルでは危険であると思う。交通教育を行いモラルを上げる必要がある。

- ✓ モラル向上の指導を行ううえでも対面販売の必要性についての意見があったが販売時に該当免許を所持しているかどうかを確認していくような、販売を行うには資格があるのか？

↓

販売に関しての資格はない。販売時に免許所持を確認することは二輪車販売店の慣習として固定されている。

- ✓ 原付を含めたモビリティ全般についての利用環境を整備するためには大阪府の複数の部署を横串にする協議体が必要だと思うが如何か？

↓

ふれは今後の普及を考える意味でも必要なことだと思う。

- ✓ 電動小型モビリティの団体と連携していくつもりはあるのか？

↓

電動小型モビリティの販売はネット中心なので販売団体はない。LUUP を始めとしたメーカーとは機会があれば話し合いを行いたい。

- ✓ 電動小型モビリティの普及は二輪車販売店は歓迎するのか？

↓

我々は電動小型モビリティを排除するものではない。50cc と棲み分けして普及していくものだと考えている。それには50cc を含めた利用環境の改善が必要である。

- ✓ これらを普及するうえで大阪府に対しての要望はあるのか？

↓

大阪府下の何処かに特区を創って駐車場所や走行帯についての検証を行ってほしい。

(以上)